



脳卒中後の回復期および維持期の コンディショニングリハビリテーション

～在宅環境における課題指向型アプローチの実例と再発予防の工夫～

開催日

平成30年 **10月14日** **日**
12月 9日 **日**

※両日も同一プログラムで実施します。

Program

1

10:00～12:00

在宅環境の問題点と改善策

～脳卒中後再発作の実際～なぜ、活動しない？

講義内容

1. 再発作防止のための居室／在宅環境の見直し
2. 居室／在宅プログラムの実践的介入について

Program

2

13:00～14:30

在宅環境における課題指向型アプローチの実例 1

～静脈灌流とストレッチ～

講義内容

3. 活動しやすく動きやすいコンデションのための実践的介入の実例を紹介する

Program

3

14:40～16:20

在宅環境における課題指向型アプローチの実例 2

～バランス／立位・立ち上がり／歩行動作～

講義内容

居室／在宅環境における課題指向型アプローチの実例を課題ごとに紹介する

1. 開始動作に必要な課題
2. 基本動作に必要なバランス課題
3. 安定した立位獲得のための課題
4. 効率的な歩行動作のための課題
5. 日常生活における実践プログラム

～起床時から就寝時までのプログラム例～

受講料

5,000 円

テキストとして、

『脳卒中患者のための理学療法』
(税込価格：6,264 円 / ガイアブックス)
を受講者に進呈いたします。



講演者情報

金子 純一郎 (かねこ じゅんいちろう)

国際医療福祉大学大学院修了 (保健医療学博士)、上尾中央総合病院を経て、国際医療福祉大学小田原保健医療学部理学療法学科教授。

主な担当科目は臨床動作分析、神経系理学療法学 (脳卒中および神経筋)。

研究内容：

脳機能画像診断法による脳卒中後の運動機能回復機序に関する研究など。

主な著書・論文：

『理学療法学 OSCE 基準マニュアル第4版』(理学療法共用試験機構 2015)、『脳卒中患者のための理学療法』(監修 ガイアブックス 2014)、『動作分析からみた運動課題』(理学療法科学 24 特別号 2008)、『基本的臨床技能に関する実践教育の現状』(理学療法科学学会 40 回学術大会誌 362007) など多数。

開催場所

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1丁目2-4
OPTビル3階



主催：理学療法科学学会 共催：(株) ガイアブックス

○問い合わせ先

国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 理学療法学科 金子純一郎 kaneko@iuhw.ac.jp